



刊夕日四十月八

愛兒を死なす (四) 島田忠夫
 先年亡くなった歌人木下利玄氏はまた薄倅な人であつた。氏は備中足守の藩主の一族に生れ乃ち本家を継ぎ子爵となつた人である。短かい年月に利公、一郎、夏子の三人の愛兒を喪ひ、やがて一兒と夫人を喪して先年鎌倉に逝いた。愛兒を悼む歌には悲痛な、思はず襟を正さしむるものがある。

たるわれは涙の目をそばたたく
 墓地の杉蟬はなげどもいとし子は姿も見えず土に入りつつ
 二郎に
 あけ閉めの戸の音はばかりあぢ氣なし今はさのなん吾子ならなくに
 葬はて人おのがじかへれども 吾子のかへらん時あらぬやも
 亡き吾子の帽子のうらの汚れみてその天死をいたいに
 おぼゆ

夏子に
 肉身の捨ててはかねし望さへ今は絶えゆき吾子死ぬるなり
 椽側に亡くなりし子の汚れものこの夕かけをしろうかへり
 この事もすぎ去りけり、椽先の白菊見つつ嘆かひにけり
 これやこの三人の吾子の墓ごと、ころ土のしめりに身をかめをり



定価 一月五圓 半年十圓 一年二十圓
 郵税 五割
 印刷所 東京市本町三丁目三番地
 電話 六三〇番

中元 贈答品案内

- ◆ ポイルシャツ
- ◆ 絹縮シャツ
- ◆ 縮シャツ
- ◆ 箱入半布
- ◆ 箱入タオル
- ◆ 靴下各種
- ◆ 商品券

にツルヤ

内羅専門妙薬 愛馬散 小野屋薬店

童謡、島田忠夫選
 カキカク
 岩手縣膽澤郡小山村
 織田秀雄

あねね
 これみろ
 かきかただ。
 ふたゑまる
 もつた
 おればりだ
 あかいな
 ふたゑまる
 おもしろな
 あんネ
 それく
 よくみろ
 よあかいな
 ふたゑまる
 くるくだ。

廣告ト實際ト伴フ店
割烹 岩崎和
 御安心ノ出來ル御客本位ノ店
 電話 番六二二

三益玉炭のお奨め
 三井物産會社が多年研究ノ結果專賣特許ヲ得タ最モ文
 化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス
 ◎無煙無臭で火付が早く。火持ち良く、火力が強ク日
 常のニヤキにはコンナ便な品はありません
 ◎それで値段は大變お安く木炭の三分の一で充分間に
 合ひます
 ◎ドンナニ喰はずさらいノ人でも一度使へば必ず御氣
 ニ召すのが此の玉炭の特長です
 値段ハ壹箱金二圓、個數ハ約八百個内外
 お申越次第見本を持參してご覧に供しますからお申越
 下さい
 平 驛 前 (電話二三七番)
阿部石炭商店

君は、いゝ型の洋服を求めたかい
 眺かへ?
 いや君コレは例の「ソレ」
 正札堂

正札堂

一の井洋食謝恩デー
 八月十日ヨリ十月三十一日マデ三ヶ月間三回抽籤
 抽籤方法毎月二十五日午後二時二十八日
 高級洋食 御買上券一枚進呈
 一品毎ニ

一等	二本	美景洋山
二等	三本	洋式宴会
三等	五本	仕出し
四等	十本	一の井
五等	三十本	平出町 (電一六七)

内科 小兒科 (院長毎日診療)
 花柳科 (需應院入)
 藤沼醫院
 電話 園五〇七番

夫儀重儀 本日葬送の際には炎暑中よも不拘遠路御會葬被下殊に御香奠を賜り難有奉深謝候實は拜趨御禮可申上處取込中に付乍略儀不取敢以紙上御禮申上候
 昭和三年八月十四日
 清野 キヨ
 外親戚一同

光線装置
 五月十日ヨリ診療開始
 主任 醫學博士 難波 睦
磐城共濟病院
 平町電話六四一番

内科 小兒科 (院長毎日診療)
 院長 醫學博士 難波 睦
 内科部長 栗野 省三
 外科部長 醫學士 氏家 憲介
 婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二
 産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二
 藥局 局長 吉本 孝平
 本院 主事 賀澤 忠治
 電話 七二番

たしりわんふ
 の本松きよ味風
 れし召をンバ
 ビ甘スク松ミバブレ食
 ーナ食ネム本ツンラモバ
 ケッパバ
 キンクンソズムン
 一斤十六錢
 五錢
 目丁四町平
ヤトモツマ
 番四一二話電

大平町を壓する

堂々の設計振り

實現時期の豫測つかぬが
理想の建築平町役場

平町役場廳舎の改築は事務の刷新改善を圖り將來の大平町に備ふる上においてまことに焦眉の急問題であるといふ處から先年町會議員より成る數班の

視察員

によつて遠く縣外各地の視察を試み將來市役所としても然らずる處なき宏壯な建物は躍進途上に在る平町の一異彩として今にも造り上げられるかの様じきりに見得坊の町民を練喜びさせたものだが由來肝じんの金の

出みち

が現役場敷地三百二十坪水道課舊商業學校敷地四百坪その他舊平陽校跡或は胡摩澤所在の町有地の賣拂代金を當込んだ

出炭制限の餘澤で

平湯本に一景氣

賣炭屋が旅館料理店に屯して
所期の送炭運動を劃策

違約金の徴收條件つきで過般來殆んど強制的に實行しつつある常警炭礦界の出炭制限はこの事の徹底的實行により炭界の不況が少からず調節緩和されるものとして多大の

期待を

以てその効米利目されてゐるが向後一ケ年に亘る出炭制限の嚴守

警城關係の八十名入山同士の二十五名その他大小各炭礦關係の當業者は隨時平湯本等の旅館料理店に屯し夫れど畫策するため以前好況當時この種の

商人に

勿來の旅籠屋で

トランク破りの怪賊

金側時計三百五十圓を
嫌疑者は二時間前逃走

十三日午後三時半頃勿來町大字白米字林中温泉宿坂本キン方止宿東京市淺草區北清島町建具販賣業上野寅吉(西)所有のトランクを鋭利なる刃物を以て破り在中の

快晴も今一日
又悪くなる
新颱風が通過後は
相當暑くならう

又悪くなる

金側懷中時計鎖付價百五十圓及び現金百五十圓を窃取したる曲物あり届出により植田署にて犯人嚴探中であるが三日前より同宿中であつた茨城縣多賀郡松原町字高萩篠原義一(日)が盜難二時間前より同家から姿を晦ましたので同人の所爲ではないかと行衛を搜索してゐる

一ヶ月以上に亘る變調的氣象も十二日以来俄に晴天と變つたが今後此天候が續けば稲作其他の作物が盛りかへすものと見られ農家は頗る狂氣して居る右に就き小名濱測候所では目下颱風が琉球方面にあり之れが漸次東北東に進んでゐるので今十四日一日だけは十三日の如く快晴であらうが明後日もあたりから又ジメ／＼悪く



庭家

胡瓜のぬた

材料と分量(十人前)——胡瓜 中位のもの五本、油揚

三枚、白味噌三十匁、酢一合砂糖大匙一杯、鹽少々、うど一本、
拵へ方——先づ胡瓜の皮を剥ぎ堅二つ切にして蕊を取り除き木口より薄く刻み淡い鹽水につけて置きます、次ぎに油揚は堅二つに切り極細かく横に切つて熱湯に入れてざつと茹で筈に取り

水氣をよくしぼつて前の胡瓜を硬く水氣をしぼつて置きます、別に味噌を据鉢でよく摺ながら砂糖と酢をまぜ合せて裏漉しになしこれにて程よく和へ器に盛りうどをのこぎり切りにしたものを清水で晒し水氣を斷つて上置にして供します

鎖夏

決死の懷古談

政友支部幹事長 佐藤 庄太郎氏

私は政友會に身を投じてから約四十年になりその間あらゆる選舉運動に加はり色々な事件に出つたが、この時程痛快に思つたことはない、それは原敬時代に於ける衆議院議員選舉の時だ、安達、安積兩郡から我黨では當時賣り出しの内務省土木局長堀田貢氏を原首相のお聲が、りて立候補させたが反對黨(憲政會)では栗山博氏を押し立て、猛烈に運動を開始した當時原首

相から總指揮官の印授を帶た自分は、必ず勝つて見せる、若し負けたら再び閣下に會ひませんと固く誓つたので責任は容易でない

忘れられぬ開票の晩で、落選したと云ふので一同はそこそこにして引揚げその日の中に皆ちり／＼に別れてしまつたが自分は唯一人郡山の朝日館においてある本部に慷慨無量で引揚げ原首相への申開きに自殺しようかと暫し冥想に耽つて居た、丁度その時だ宵の闇を破つてウワー／＼と云ふ人聲が街の彼方から聞えて來た無論彌次馬も多數加はつてゐたが數百人から

その時まで黙つてすわつてゐた自分は俄に仁王立になり眞先に飛び込んで來た奴の胸ぐらをつかんで叩き投げると同時に物凄いな形相でにらみつけてやつた。それ

募集

文藝其他投稿を募集します

心した、然しベストを盡したにも拘らず僅かな差で堀田氏は落選してしまつたのだ

しなから反對黨の連中を先頭に朝日館の前まで隊伍をくんで押寄せて來たのだやがて「佐藤をやつ／＼けろ」「政友會をぶつ／＼ぶせ」と誰云ふとなくどなつたので熱狂した群衆は洪水の様朝日館の門内になだれ込んで來た、間もなく短刀こん棒等を手にした壯士連がドヤ／＼と自分の部屋まであはれ込んで來た

間は死を決した時程強い時はない間もなく私は一人残らず門の外まで群衆を追ひ出してしまつたのだ、更に私は一町ばかり退拂つて行つたがその頃には流石の群衆も遠巻きにして居るだけ一向元氣はなかつた

なるかも知れない然し此颱風が通過してしまへば夏の氣象となり相當暑くなるであらうと

家庭は圓滿

實母と二男難を免る

昨報慘劇を演じた高義の家族は既報五人の外に二男勝人(一)と實母あさ(三)の七人暮しであつたがあさと勝人は庭前なる隱居所に寝てゐたので慘殺を免れたが家庭は至極圓滿で慘劇のあつた十二日夜も平常と變りな九時過ぎに一家族床につきそれから午前三時前後の寢入り花に於て兇行が演ぜられたものである

梅ヶ平斜坑

廢坑となる

從業員は一名も解雇せず
警崎村上湯長谷小野田坑梅ヶ平斜坑は最近出炭が非常に減少したので調査の結果炭層がなくなつたこと判明去る十日から全然廢坑することになり全從業員四十餘名に申渡したが全員は何れも他坑に廻し一人の解雇者も出さない由